



▲神戸夏まつりでの盆踊り



▲地域のみんなが協力し合って祭り会場を準備

地域の話題

# 神戸校区

## みんなが楽しく地域主体のまちづくり

地域主体のイベント「盆踊り」を、地域のみんなでもっと楽しめるよう、「夏まつり」に刷新して開催した神戸コミュニティ協議会からお便りが届きました。



### 「盆踊り」の復活

以前は、青年会や婦人会が主体で開催していた「盆踊り」。それぞれの団体の衰退により開催されなくなりました。しかし、地域で開催を望む声が聞かれるようになり、誰もが楽しめるイベントとして、平成19年に校区主体で復活させました。消防団OB、婦人会OGが協力し、やぐらで太鼓をたたき「神大鼓クラブ」がつくられ、老若男女、校区の誰もが参加するようになりました。

### 「神戸夏まつり」の開催

神戸市民館駐車場を会場として復活した盆踊りは、地域の盛り上がりとともに、平成23年は神戸小学校の運動場、平成24年は神戸運動公園と会場を変え、規模もだんだんと大きくなっていきました。そして今年、より多くの方に参加してもらえるよう、やぐらの周りの出店を増やし、子どもたちのステイジイベントなどを行う「神戸夏まつり」に刷新しました。



●祭りの最後は、恒例の菓子投げを行いました

神戸夏まつり当日、会場は、ステイジイベントを見たり、音楽と太鼓に合わせて踊ったりする家族連れなどでにぎわいました。涼しげなゆかた姿の人も多く見られ、夏の夜を思い思いに楽しんでいました。

神戸夏まつりを地域の皆さんが楽しめるように、そして、この祭りのために地元へ戻って来てもらえるように、今後も続けていきたいです。

### ゆかた姿でにぎわう会場

